

仙台市海外展開チャレンジ支援メールマガジン

～仙台・東北から海外・タイ王国へ！～

発行：仙台市経済局産業振興課国際経済室

ウェブサイト

<http://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/kaigai/index.html>

目次

1. タイへのビジネス展開入門 5
2. タイトレンド通信 Vol.16
3. 他団体のセミナー・イベント等情報

◆タイへのビジネス展開入門 5

仙台ータイ経済交流サポートデスクの益雪です。

今回は輸入の許認可について話をしましたが、今回は日本からも多く輸入されているお酒について詳しく話します。

日本食レストランが沢山あるバンコクでも日本全国から輸入された様々な日本酒や焼酎を楽しむ事ができ、最近で日本製のストロング缶酎ハイなどもスーパーの店頭に並んでいるほどです。

お酒に限らずタイに食品を輸入する場合は、タイ側に輸入者を立て、FDA を取得が必要であることは前回も触れましたが、お酒はそれ以外にもルールがあります。

お酒の場合は規制商品であるため、まずは酒類の販売ライセンスを持った輸入者が必要です。

更に、お酒の銘柄毎にラベル登録という手続きを行いますが、1 アイテムにつき 1 社でしか登録できないことになっています。

つまり、輸入者としてラベル登録を委託したライセンス業者がタイでの独占販売権を持ち、その業者を通じてタイでお酒を販売してもらうことになります。よって、最初のパートナー選びは大変重要で、最初のロットでまとめて買ってくれるからといって安易に輸入を委託してしまうと、後々に困ってしまうケースもあります。ラベルの登録など

の手続きがすべてタイ語であるため、現地の卸業者に委託して行ってもらうことが不可欠です。

お酒の広告やプロモーションは、法律上禁止であるため、知名度のあるお酒以外は、店頭に並べるだけや卸業者のリストに載るだけでは、販売数量を増やすことが大変難しい商材です。

そのため、自社でレストランなどに個別営業を行うといった販売努力が欠かせません。

◇ タイトレンド通信 Vol.16

タイデスクの Pia です。

今月もタイの若者が SNS など話題にしているトピックを紹介します。

皆さまのタイビジネスのヒントになると嬉しいです。

[7月のトピック]

・プリクラブーム再燃

以前のメールマガジンでも触れましたが、プリクラマシーンをデパートやショッピングセンター内に設置するところが増えています。

コロナ禍で出かけることが出来なかった反動もあり、外出の思い出を残そうという人が利用しています。

・デザートを色々な形にカスタマイズ!

カバンや靴、動物など様々な形のケーキが人気になっています。

お誕生日などのお祝いの際に、相手の趣味に合わせたり、より可愛い形にして、相手に喜んでもらえる個性的なケーキをあげたいという人が多いみたいです。

・“だるま寿司”詐欺

人気レストランであった“だるま寿司(Daruma Sushi)”のオーナーが海外逃亡したことが話題になりました。Daruma Sushiはタイで人気の寿司食べ放題レストランです。食べ放題が大幅に割引になる E-coupon が販売され話題になり、フランチャイズ事業も拡大していた矢先にタイ人オーナーが国外に逃げてしまいました。

フランチャイズは、加入費用や毎日の売上をオーナー側が回収し、10%の利益分をフランチャイズ加入者に戻すということで投資を集めていました。プロモーション販売やフランチャイズ投資の後に、経営が破綻し全支店が閉店、店の SNS もなくなりオーナーとも一切の連絡が取れない状態になり、購入者や加入者が詐欺であったと大騒ぎし始めました。現在、逃亡したオーナーは、タイ警察に留置され捜査が行われています。

・タオスパーアングローウ（石炭コンロ）

ロシア・ウクライナ戦争でガスと石油の価格が上がり、焼肉などのバーベキューレストランが困っています。

政府が石炭コンロの利用を推進し補助を行っています。対象としたのは、屋外で焼肉などを提供するお店やレストランでしたが、説明不足で誤解を生みました。誤解した人たちは、ガスレンジの代わりに、石炭コンロを使いましょうというお知らせだと捉え、政府の対応に不満をもち、SNSには政府の愚策に対して否定的なコメントが溢れました。

・世紀の対決”The Match”

7月12日の世紀の対決”The Match”と名付けられたサッカー試合がバンコクのラチャマンカラスタジアムで開催されました。

タイでも人気があるイングランドプレミアリーグのマンチェスター・ユナイテッドとリバプールFCの試合を高額なチケット代にも関わらず大勢の人が観戦しました。

試合前のコンサートは、”Jackson Wang”という歌手のパフォーマンスが試合で、人気アーティストの3年ぶりに来タイだったこともあり、こちらも試合に負けにくいファンを熱狂させました。

◆ 仙台市では、海外販路開拓にチャレンジする皆さまを応援します！

●仙台－タイ経済交流サポートデスク

コロナの影響でタイに渡航することが難しくタイについての情報収集ができずにお困りではありませんか？

仙台-タイ経済交流サポートデスクでは、タイ進出をご検討している皆様だけでなく、まだ進出までは考えられないが話だけ聞いてみたい、タイについて聞きたいことがあるなどタイに関する皆さまのご要望にお応えします。

タイについて知りたいことがあれば是非お気軽にご利用ください。

“仙台市の海外展開”の取組みをご活用いただき、多くの企業様がタイ進出にチャレンジしていただくことをお待ちしております。

詳しくは、以下をご覧ください

<https://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/kaigai/suppourt.html>

●仙台市輸出入チャレンジ支援助成金

仙台市では「仙台市輸出入チャレンジ支援助成金」を実施しています。

今回も海外展示会出展やサンプルの輸出入、E コマースサイト出展など海外展開に幅広くご活用いただける内容になっています。

また、オンラインの商談会で使いやすいよう PR 動画作成費、オンラインでの通訳費の助成などにもお使いいただけますのでご活用ください。

詳しくは以下のリンクをご覧ください。

<https://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/challenge.html>

■ ----- ■
地域未来牽引企業向け海外展開ウェビナー見逃し配信（無料）のご案内
（日本商事仲裁協会）

令和4年5月24日に開催された、日本国際紛争解決センター（IJDRC）、法務省、経済産業省、日本商事仲裁協会（JCAA）共催「地域未来牽引企業向け海外展開ウェビナー」の録画版をYouTubeにて配信中。

以下 URL からのアクセス限定の公開中

<https://www.youtube.com/watch?v=R2skj7-xSu4>

（視聴期限：令和4年8月末まで）

【第1部】中堅・中小企業の海外展開状況及び支援について

上田泰史（経済産業省貿易経済協力局貿易振興課 企画官）

【第2部】国際商事紛争への対応について

紛争解決及び国際取引をよりスムーズなものとしていただくため、国際取引における紛争リスクへの備えとして国際的にスタンダードとなっている国際仲裁の利用及び日本を仲裁地とすることのメリットをご説明いたします。

①国際商事仲裁のプラクティス

高取 芳宏（IJDRC 霞ヶ関国際法律事務所 弁護士・ニューヨーク州弁護士・英国仲裁人協会上級認定仲裁人・国際調停人）

②JCAA 仲裁を「活用」する～紛争リスクへ備えるために～

山川亜紀子（JCAA 広報担当 弁護士・ニューヨーク州弁護士、Vanguard Tokyo 法律事務所）

③国際仲裁の活性化に向けた政府の取組み

金崎哲平（法務省大臣官房国際課課付）

※このメールはこれまで仙台市産業振興課担当者から名刺交換させていただいた方や、仙台市のイベント等にご参加いただいた方にお送りしています。

配信停止を希望される方はお手数ですが、このメールのタイトルに（配信停止希望）と付記して返信いただければと思います。

バックナンバーはこちら

<http://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/mailmag.htm>

【発行】 仙台市経済局産業振興課国際経済室

tel : 022-214-1005 fax : 022-214-8321

email : kaigai-challenge@city.sendai.jp
